

言葉の旅 スペイン語のバリエーション(4)

プエルトリコ

プエルトリコ(Puerto Rico)はアメリカ合衆国の南東にある大西洋(Océano Atlántico)とカリブ海(Mar Caribe)に挟まれた島で、日本の四国のおよそ半分ほどの面積です。首都サン・ファン(San Juan)の旧市街(el Viejo San Juan)やエル・モロ要塞(El Morro)を訪れると、タイムトンネルで植民地時代にたどり着いたような錯覚に陥ります。音楽ファンならパブロ・カザルス博物館(Museo Pablo Casals)は見逃せません。日程が許せば郊外のエル・ユンケ(El Yunque)で熱帯雨林の大自然に触れたり、ドラード海岸(Dorado)で海水浴を楽しむこともできます。



【写真1】El Yunque で出会った子供たち

プエルトリコは政治的にはアメリカ合衆国の「自由連合州」(Estado Libre Asociado)という地位にあり、合衆国の影響が言語にまで及んでいます。

プエルトリコのスペイン語には多くの英語が取り入れられ、独特の二言語使用状態を生んでいます。人々の言葉遣いや、町中の表示、店の看板などに

もそれが反映されています。



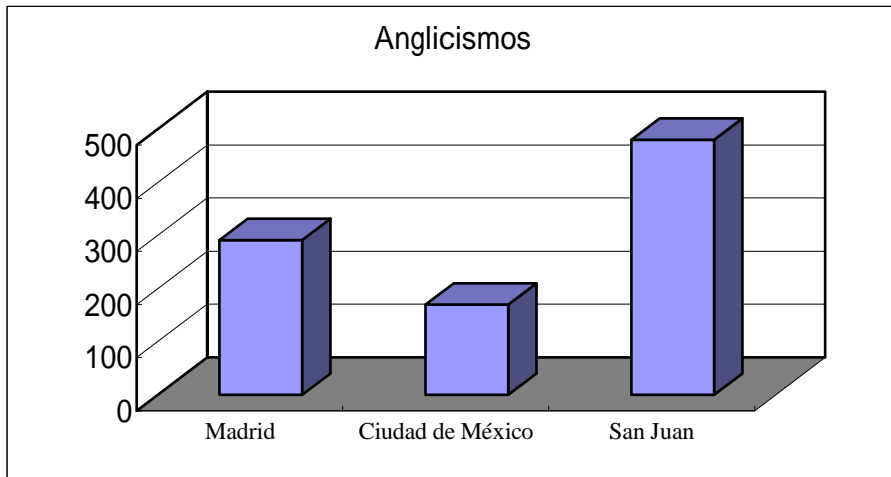
【写真 2】英語 + スペイン語駐車禁止の表示

現地でスペイン語の研究をしているマリア・バケーロさん(María Vaquero)は、プエルトリコのスペイン語に見られる英語の影響(anglicismo)を新聞から採集し、次のような現象を指摘しています("Anglicismos en la prensa: Una cala en el lenguaje periodístico de San Juan", *Lingüística Española Actual*, 12, 1990)。

- スペイン語の単語を英語の意味で使用する。たとえば英語の block からの影響で, bloque を「街区」の意味で使う(標準的なスペイン語では manzana, や cuadra が使われる)。例: Yo tuve que dejar el carro lejos, como a tres bloques. 「私は車を遠くに, 3ブロックほど離れたところに駐車しなければならなかった」
- 英語式の語形。たとえば, coincidentalmente「偶然に」は英語の coincidentally の影響がある。スペイン語本来の形は de forma coincidente となる。
- 翻訳借用。たとえば, Lo que dijo no hace sentido.「彼の言ったことは

訳がわからない」の, hacer sentido は明らかに英語の make sense の直訳でしょう(翻訳借用については5月号で取り上げました)。

一般にスペイン語には英語からの借用が多くありますが、とくにプエルトリコに多いことは統計的に明らかです。スペイン語の社会言語学をリードするウンベルト・ロペス・モラレスさん(Humberto López Morales)は、共通の意味項目(4452 項)について各地の調査を比較し、英語の外来語がマドリッドで 291 語、メキシコシティで 170 語であるのに対し、サン・フアンでは 480 語を記録しました(*El Español del Caribe*, 1992, Editorial Mapfre)。その違いはグラフにすると一目瞭然です。



スペイン語対英語という単純な対立の図式では説明できないこともあります。たとえば、プエルトリコで、「雑誌」のことを英語の magazine と呼ぶことが多いのですが、スペイン語の revista も使われています。そうすると違いが気になりますが、どうやら, revista は内容のある立派な雑誌, magazine は内容が軽い娯楽誌を指すようです。

言葉を求めて...規範的な立場と記述的な立場

プエルトリコのスペイン語の混交状態を危惧するインテリや教師たちは、「正しいスペイン語」のあり方をめぐって新聞や雑誌で多くの発言をしていま

す。これは言語の規範を追究する立場です(*posición prescriptiva*)。一方、言語学者は人々の会話を記録したり、使われる言葉を質問をしたり、またマスコミの言葉を記録したりして、ことばの真の姿を冷静に観察・調査して学会誌や著書に発表しています。これは言語を客観的に見る記述的な立場です(*posición descriptiva*)。

私たちのような日本(外国)のスペイン語教師の立場は微妙です。確かに、教室では「正しいスペイン語」を教えなければなりません。しかし、そうだからと言って、現地のスペイン語の真の姿に目をつぶることもできません。そこで私は、「初級スペイン語」の授業では標準的なスペイン語を扱い、上級や専門のコースの授業では各地のバリエーションを扱うという二刀流で臨みます。

そのとき、「標準的なスペイン語」や「各地のバリエーション」とは何か、という問題があります。それを知るには多くの文献を参考にしながら、自分たちでも実地の調査をしなければなりません。標準を定めるにはすべてのバリエーションを知らなければならないので、2つの問題は相互に関連するのです。

世界に広がるスペイン語について、まだまだわからない点がありますが、先行研究や独自の調査によって、少しでもその姿に近づきたいと思います。先述のマリア・バケーロさんのプエルトリコ大学の退官を記念して、去年(1999年)論文集(*Estudios de Lingüística Hispánica. Homenaje a María Vaquero*)が刊行されました。それを紐とくとバケーロさんと親交のあった世界中の研究者が、スペイン語圏のスペイン語の様相について発表しているのが見られます。

言葉の広がり...「(車を)運転する」

下の写真は島の北東岸のサン・ファンから西岸のマヤグエス(Mayagüez)までのドライブの途中、駐車場で見つけた交通安全キャンペーンのステッカーです。「飲んだら乗るな」ということですが、ここで「運転する」に動詞の *guiar* が使われています。



【写真 3】飲酒運転撲滅交通キャンペーン

私たちの調査では, **guiar** (地図では G) は他にグアテマラでも記録しました。スペインでは **conducir** と言います (C)。ラテンアメリカ全域で **manejar** が優勢ですが (M), **conducir** が併用される国もあります。ボリビアのラパスでは **dirigir** も報告されました (D)。



【地図】「(車を)運転する」

【課題 4a】Lipski (1996: 350-354) を読み, プエルトリコの歴史とスペイン語の諸相との関係について考察しなさい。

【課題 4b】 Lipski (1996: 358)にはプエルトリコの統語的英語用法(anglicismos sintácticos)が挙げられている。各種の資料やインターネットによってその地理的分布を調べなさい。

- ¿Cómo te gustó la playa?
- El problema está siendo considerado.
- Te llamo para atrás.
- Él sabe cómo hablar inglés.

【参考】Corpus del Español: <http://www.corpusdelespanol.org/>, Google など

【課題 4c】 「(車を)運転する」を意味するスペイン語の語形の地域的語彙バリエーションについて調べなさい。

【参考】Varilex: <http://gamp.c.u-tokyo.ac.jp/~ueda/varilex/>